

# ぼくのノオト

## ㉖唄三線の心

沖縄の小さな島で、ひとり静かに暮らすおばあ。部屋の片隅には、大切に使い込まれた三線が鎮座していた。耳が遠くなつたおばあは、三線を弾く時、なぜか補聴器を外す。おばあの心に響くのは、若かりし頃に奏でた三線の音色なのだろう。

大和の床の間には刀があつたが、沖縄のそこには三線が飾つてある。どんな苦難の歴史の中でも、唄三線を忘れなかつた先祖の生きた証であり、訪ね人を迎える島人の心でもある。三線は、出会い、交流、平和をもつて「三心」ともいう。

三線の音色を創るのは、蛇皮の胴よりも細い棹が重要で、深い余韻のある音を出す黒木は、戦火と伐採で沖縄でも希少となつてしまつた。成長が遅い黒木が、棹材として使われるには百年かかる。その黒木の植樹を始めている人たちがいる。

百年後の出会い、交流、平和を想いながら三線を弾き唄い、黒木を植樹する。そんな心は誰にでもあるはずだ。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室  
**たらちねクリニック**  
院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畠町11-3 カネマンビル3階 Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時(受付は30分前)／土・日・祝日休診